

ふなで



2025 年 8 月 1 日発行 令和 7 年度 第 4 号

【email】ajssnz@gmail.com 【web】<http://www.ajss.ac.nz>

きみは きみでいい

校長 加納 直樹

この言葉を知ったのは、今から 35 年前です。それから何かの折に使わせてもらっています。若い頃、私が 6 年生を担当していたとき、卒業文集を作成するために、当時の学校の職員の方々全員に、卒業生に贈る言葉を書いてもらいました。これからの人生を見通した、励みや名言など様々な言葉がある中で、「きみは きみでいい」というこの言葉は、当時の私には衝撃的かつ新鮮で、私の脳裏に強く焼き付いて、それ以後私の教師人生の支えにもなりました。

その言葉を書いてくださったのは、大先輩の先生です。指導には無駄がなく、ときに厳しく、クラスの雰囲気はピリッとしていました。それでいて子供たちに慕われていた先生でした。若さと勢いで汗を流しながら、大きな声で子供たちをまとめていた私にとっては、憧れの存在でした。

その先生には子供の見方を教わりました。「あの子は、いい子を演じている。親の期待に応えようと一生懸命。自分を表に出していない。心配だな…。」成績も良く、生活指導上も特に問題がない、いわゆる優等生であったとしても、自分らしさを発揮しにくい児童、素直な気持ちを表すことを躊躇してしまう児童を常に心配していました。先輩にそう言われてよく子供を見ると、確かに判断基準が子供自身の内にはない子供がいることが分かりました。大人の価値観も大切ですが、あまりにも強く押しつけられ、表情に心のため息が出ている様子も見えてきました。だから、「きみは きみでいい。」の言葉が私に響いたのでしょう。どんな子であろうとまずは、その子自身の存在を認める、引き出す、そこから何かが始まるのではないのでしょうか。そのことなくしては、子供にあれこれ指導しても思いは伝わりません。

受け売りで別の学校で何回か卒業文集に「きみは きみでいい。」と書きました。すると必ずといっていいほど、子供たちにほめられました。中には「先生の言葉が一番良かった。」と言ってくれる子もいました。子供たちは大人が思う以上に今を頑張っているのかもしれませんが。それを大人が認めていないから、こういった反応があるのでしょうか。

毎日重たいバッグを背負って元気よく学校に通うことはすごいことなのです。子供たちの目から見れば、大人たちはまだできる!もっとできる!!さらに頑張れ!!!と囁き立てる存在なのかもしれません。

新しい年度が始まり 4 か月、今年度も補習校は様々な教育活動を通し、子供たちの健やかな成長を支えています。まずは、「きみは きみでいい。」と受容的に一人一人の存在を認めることを忘れないで、職員一同子供たちに全力で向き合っています。目指すは、「子供たちみんなが友達や先生に会いたいと登校してくるオークランド日本語補習学校」です。

今後も保護者の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

書道教室

7月15日（火）にA9クラス、16日（水）にA6クラスで、保護者の柴崎さん(書家)による書道教室が開催されました。A9クラスでは、まず文字と書道の歴史についてお話を聞き、硬筆で、文字や文字を並べる際のバランスを、書写の教科書を使いながら学びました。その後、毛筆に移り、1枚目は何も



見ずに各自が選んだ課題を書きました。続いて、始筆、終筆の押さえ方、払いの書き方を教えていただき、お手本を見ながら2枚目を書き上げました。

A6クラスでは、墨を磨るところから始まりました。磨った墨は小筆で名前を書く練習に使い、墨を磨る楽しさと大変さを体験できました。課題は「友情」で、A9クラスと同様に、まずは何も見ずに1枚目を書き、その後「友情」の文字のバランスの取り方や気

を付ける点を学び、運筆の練習もして、お手本を見ながら何枚か書き進めました。

どちらのクラスでも、参加者全員が目を見張るほど上達し、「まだまだ書きたい！」という意欲に満ちた空気の中で授業が終了しました。A6クラスでは、保護者の方々も参加され、大人の課題「飛翔」に挑戦されました。



普段の授業では、ここまでじっくりと文字と向き合ったり、書道に取り組んだりする機会が少ないため、生徒たちにとって非常に良い経験となりました。お手本を準備し、大切な本やすずりなども持ち込んで授業をしてくださった柴崎先生には、感謝の思いが尽きません。先生の文字に対する情熱や、真摯な向き合い方に、私自身も多く学ばせていただきました。

柴崎先生の書道教室は、今月も引き続き行われます。来年の書き初めの時期にも、きっと引っ張りだこになることでしょう。まだ書道を体験していないクラスの皆さんも、どうぞお楽しみに！（脇 恵美子）

もちつき、バザー

7月19日（土）、毎年恒例のもちつき大会が開催されました。毎年この日を楽しみにされている方も多いと思います。そして今年は、初の試みとして、バザーも同時開催されました。ワンツリーヒルカレッジのレセプション前の広場では、子どもたちが小さな杵でお餅つきを体験したり、つきたてのお餅を頬張ったり。校長室前のバザー会場では、水風船やスーパースクールすくい、本やおもちゃ探しを楽しみ、どこに行っても子どもたちの笑顔があふれる一日となりました。



また、同日には補習校のオープンデーも行われ、初めて補習校を訪れた方々も授業を見学したり、お餅つきやバザーを楽しんだりしていました。

お餅つきは、もち米を研ぎ、蒸し、杵でつき、合いの手を入れ、お餅を丸め、醤油をつけてのりを巻き、配り、片付けをする、と多くの工程があります。バザーでも、品物の募集から、集荷物の管理、会場設営、展示、販売、後片付け、会計まとめまで、やるべきことは山積みです。当日だけでなく、その前後においても、日本人会の皆様、PTAの方々やボランティアの皆様のご尽力があつてこそ、このもちつきイベントは成り立ち、大成功を収めることができました。 普段の補習校の活動も多くの方々のご協力に支えられておりますが、改めて皆様の温かい真心と多大なご協力に、心からの感謝を申し上げます。（脇 恵美子）



8月の主な予定

5日（火）	Aコース中学部前期期末テスト期間開始（教科・学年により異なる）
8日（金）3時間目	Aコース小学4・5・6年 原爆体験者による戦争についての講話
9日（土）～16日（土）	Sコース授業参観
23日（土）～9月20日（土）	Sコース保護者面談

9月の主な予定

16日（火）	Aコース中学部統一漢字テスト④
20日（土）	SコースSっ子集会 「読み聞かせ」 ボランティア しんちゃん来校
22日（月）～10月6日（月）	春休み